

ご挨拶

室蘭市長 青 山 剛

ノックスビル市を訪問された生徒のみなさん、大変お疲れさまでした。そして、今回の訪問でノックスビル市がより身近なまちになったと思います。

室蘭市とノックスビル市は、平成3年1月16日に姉妹都市となって今年度で32年目となります。これまで様々な交流を実施してきましたが、その一つがこの中学生海外交流事業であり、平成3年に最初のノックスビル市への生徒派遣を行って以来、今回で29回目になりました。

また、今回の開催は、新型コロナの世界的流行により海外への渡航が制限されたことを受け、令和元年度以来実に4年ぶりとなる開催でありましたが、これまでと同様に、ノックスビル市民のみなさんのおもてなしによって、遠く室蘭市から訪問されたみなさんをととても温かく迎え入れてくれたことと思います。

派遣された生徒のみなさんは、親元を離れて遠いノックスビル市で言葉の壁や文化・習慣の違いを乗り越え、友情を育み、一回り成長して室蘭に戻ってきたことと思います。今後は今回の経験を活かし、広い視野を持って積極的に国際社会の中で活躍してほしいと願っております。

また、過去にノックスビル市でホームステイを受け入れてくれたシダーブラフ中学校の生徒であった方が昨年度の開港150年市制施行100年の記念式典で本市を訪問し、当時派遣された生徒と室蘭で再会を果たしたほか、みなさんを受け入れたホームステイ先の中学生のうち何名かは来年度本市を訪れる予定となっているなど、両市の中学生による相互の交流が定着しており、これも両市民の熱い想いと友情があればこそと感謝の気持ちでいっぱいです。

最後に、本事業の実施に当たりご協力をいただきました「ノックスビルの会」や市内各中学校の関係者のみなさま、引率していただいた鈴木先生と福田さん、派遣された生徒のご家族、そして多くの関係者・関係機関のみなさまに心より感謝申し上げます、ご挨拶といたします。